

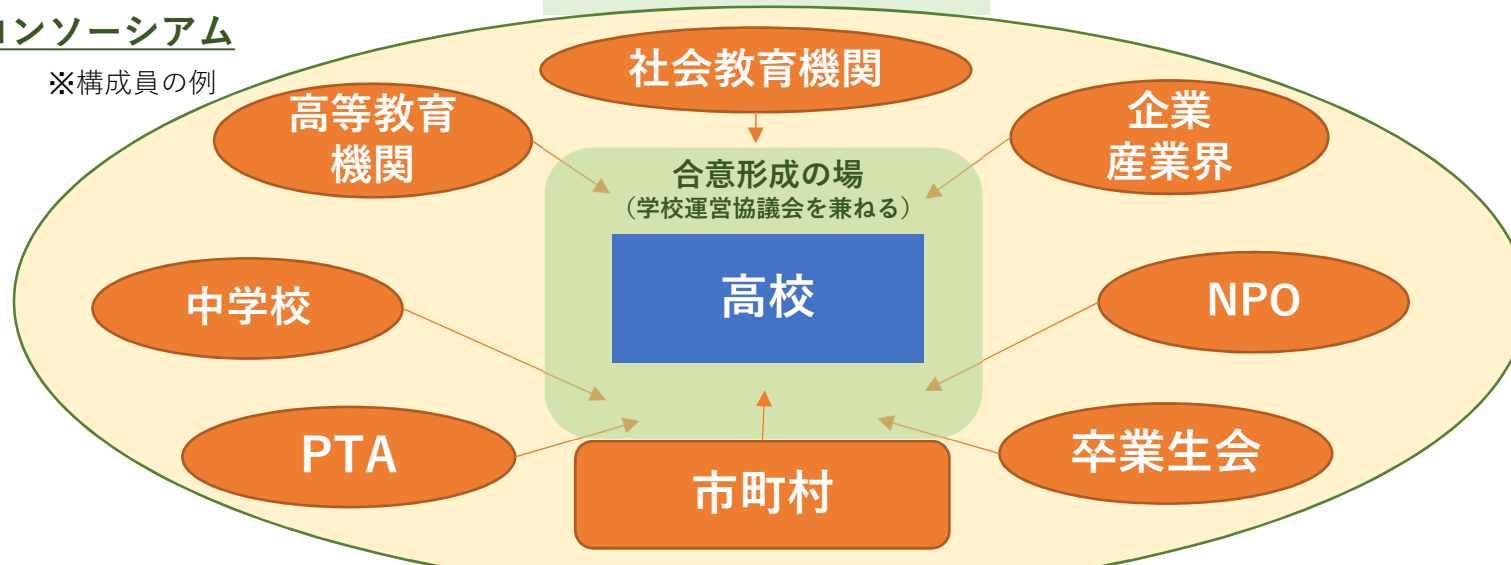
スクール・ミッション等に基づき、高校と地域社会の持続可能で実質的な協働体制（コンソーシアム）を構築

- コンソーシアムは、有志のボランティアによる緩やかなネットワークに加え、関係機関等との合意形成と協働活動を一体的かつ安定的・計画的・持続的に行えるようにするための構成員・規約・予算等を有する組織体制である。（組織対組織の協働機能を有していること）
- コンソーシアムの構成員の代表者がコンソーシアムの合意形成の場（学校運営協議会を兼ねる）に参加することで、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を図ることができる。
- 高校・地域の実態や協働の目的によってコンソーシアムの構成員は柔軟に設定でき、多様な形が考えられる。

「社会に開かれた教育課程」と「高校を核とした地方創生」の好循環
 スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの実現

コンソーシアム

※構成員の例



【地域と高校の協働体制（コンソーシアム）の機能】

- 協働体制の構築・運営（ビジョン・計画づくり、事業・会議の運営等）、外部資源獲得等の経営的機能
- 地域との協働による学校運営の改善や地域社会と関わる教育課程の企画・運営・支援等の学校教育的機能
- 地域資源の掘り起しや学校外での高校生の学習活動構築、地域人材の育成等の社会教育的機能
- 地域留学の推進、卒業生とのつながりづくり、地元就職・Uターン支援等の地方創生的機能 など

地域社会に関する新学科を設置する高校におけるコンソーシアムの概要イメージ

- コンソーシアムを構築する際には、新しい会議を増やすというより、今ある会や組織を見直し・活用・再編成・兼用等することで負荷の低減を図ることが望ましい。
- 形骸化させないためにも、評価を含むP D C Aサイクルをまわす機能を持つことが望ましい（学校関係者評価等）。
また、生徒会を含め高校生も参加・参画できる機会があることが望ましい。
- 合意形成と活動を一体的かつ効果的に推進するためには、高校と地域社会のコーディネートを担当する人材を高校及び地域・コンソーシアムに配置・活用することが重要である。（既存教職員への付加業務やボランティアとしてだけでは不能）

合意形成

合意形成の会

※学校運営協議会を兼ねることができる

【構成員の例】 高校校長、市町村長、市町村教育長、PTA会長、卒業生会長、関係機関代表等

- 高校と地域の協働ビジョン（育てたい生徒像・学校像等）の協議・承認
- 高校と地域の協働に関する事業・活動の計画・予算等の承認・評価
- 都道府県等に対する意見・提案・要望 等

地域学校協働活動
例

教育活動に関する
チーム・会・活動

基盤整備に関する
チーム・会・活動

メンバー

- 高校教員（主幹教諭・教務主任・研究主任等）
- 市町村教委（社会教育主事・指導主事等）
- 大学、産業界、NPO、中学校、PTA担当者 等

- 高校教職員（総務主任・事務室職員等）
- 市町村職員（企画財政・地域振興・産業振興等）
- 卒業生会、PTA、産業界、NPO担当者 等

協議・活動
内容例

- 教育課程（授業・特活等）や部活動、寄宿舎等における地域社会との協働活動、運営支援
- 土日・放課後における生徒の地域活動・学習
- 異校種・他校との交流、協働活動 等

- 外部資源・資金獲得（ふるさと納税、寄附等）
- 情報発信、生徒募集、全国・海外留学
- ICT等の整備・支援（外部専門家活用等）
- 卒業生とのつながりづくり、就職支援 等

※この二つの区分けはあくまで例であり、
二つの会をつくるのが必須ということではない

高校と地域の協働体制（コンソーシアム）の事例

松江東高等学校

役員会（協働事業の方針を審議する場）

- 各ワーキンググループでの活動や決定事項について共有・振り返り・熟議（構成メンバー）
- 松江東高等学校、PTA、東雲会、嵩の嶺会、島根大学、松江市、松江市教育委員会、松江商工会議所、島根県中小企業家同友会、島根県教育委員会

事業方針の提案

審議・承認

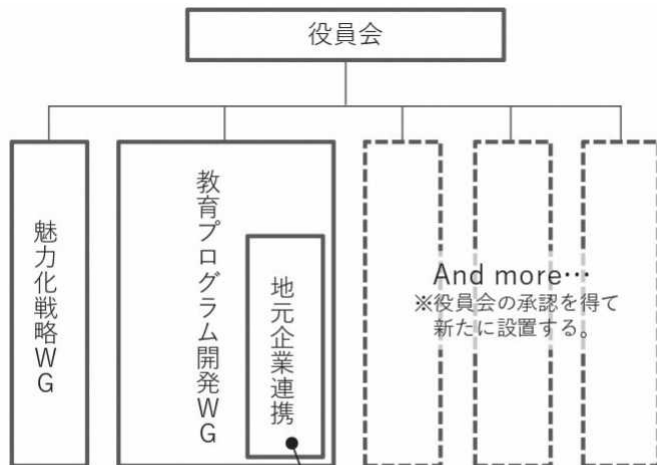
連絡・調整

事務局

連絡・調整

ワーキンググループ（協働活動の場）

- 生徒や教職員にとって魅力的な学校づくり
- 社会に開かれた教育プログラムの研究・開発
- 松江東高等学校を応援するサポーターの獲得
- 松江東高等学校の魅力の対外的な情報発信
- コンソーシアムの持続化のための仕組みづくり



プログラムを組み立てる中で、企業と連携が必要な場面で適宜意見交換を行う。

隠岐島前高等学校

隠岐島前教育魅力化プロジェクト

隠岐島前教育魅力化コンソーシアム

<意思決定の場>
学校と地域の協働ビジョン策定、学校運営の基本方針等を協議・承認、魅力化プロジェクト運営の基本方針を協議・承認、県教委との対話等

<隠岐島前教育魅力化と永遠の発展の会（32名）>
三町村長、三町村副議長、三町村教育長、三町村中学校長、卒業生会長、PTA会長、高校元校長・元事務長、校長、教頭、事務長、学校経営補佐官、主幹教諭、コーディネーター、学習センター長、三町村魅力化担当

コンソーシアム統括MGR
学校経営補佐官

連絡・支援

意見・提案・報告

<横断的事務局>
高校事務局
進士町人づくり課
ふるさと魅力化財団

<企画立案の場>
学校と地域の協働ビジョン立案、学校運営の基本方針等を協議、魅力化プロジェクト運営の基本方針を協議、生徒募集支援、新入生支援（島根等）、学校評価、地域内情報発信等

<隠岐島前教育魅力化推進協議会（34名）>
三町村地域住民（西ノ島町：6名、海士町：6名、知夫村：5名）、生徒代表（2名）、教頭、学校経営補佐官、主幹教諭、教職員、コーディネーター、学習センター長、ハウスマスター、三町村魅力化担当

支援・協働

意見・提案・報告

<教育現場（隠岐島前高校）>

協働・連携

<教育現場（隠岐圏学習センター）>

連絡・協働

連絡・協働

<教育現場（三町村保育園・小中学校）>

【写真右】意思決定の会
高校校長、町村長、教育長、PTA会長、
学校経営補佐官、学習センター長等



【写真下】企画立案・対話の場
主幹教諭、生徒代表、地域住民、
町村職員、ハウスマスター等

